



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau



横浜市港湾局



横浜港埠頭株式会社

Yokohama Port Corporation

平成27年4月13日

国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所

横浜市港湾局

横浜港埠頭株式会社

## 記者発表資料

### 4月16日に横浜港南本牧ふ頭MC-3コンテナターミナル 完成・供用式典を開催します！

横浜港南本牧ふ頭MC-3コンテナターミナルの供用が開始し、この度完成・供用式典を開催する運びになりました。

現在、世界的なコンテナ貨物量の増大に伴いコンテナ船の大型化が急速に進展するなどコンテナ物流の変革が進んでいます。

本事業は、国際コンテナ戦略港湾「京浜港」の中核となる施設として、日本と欧米航路を直接結ぶ「国際基幹航路」を維持・拡大するため、世界最大級の大型コンテナ船が寄港できるコンテナターミナルを整備するものです。さらに大規模地震時においても物流機能を維持することが可能であり、日本の防災機能の強化に資するものです。

## 記

日時：平成27年4月16日（木）11時00分～11時45分

会場：横浜市中区南本牧埠頭 MC-3コンテナターミナル内

主催：国土交通省関東地方整備局、横浜市港湾局、横浜港埠頭株式会社

※会場の都合により一般の方のご来場はできませんので、予めご了承ください。

※完成・供用式典の取材をご希望される報道関係者の方は、平成27年4月14日（火）

17：00までに別添の取材申込書にてFAXでお申し込み下さい。

## 発表記者クラブ

神奈川県政記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、竹芝記者クラブ

(問い合わせ先)

○国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所 総務課

課長 工藤 隆志 TEL045-226-3740

○横浜市港湾局 港湾経営課

課長 有路 益義 TEL045-671-2873

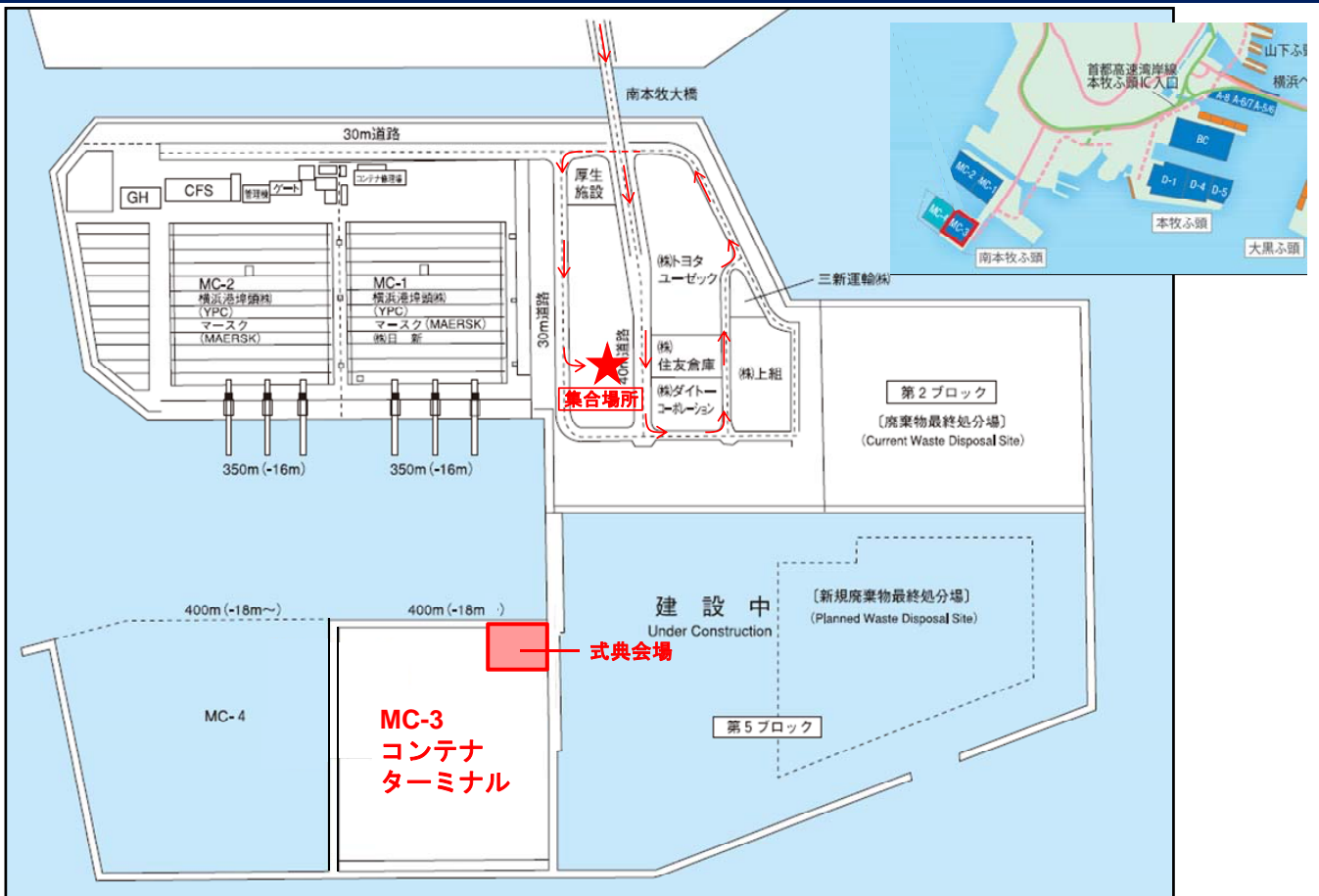
○横浜港埠頭株式会社 運営課

課長 工藤 良司 TEL045-671-7290

# 横浜港南本牧ふ頭 MC-3コンテナターミナル 位置図



## MC-3コンテナターミナル 式典会場案内図(詳細)

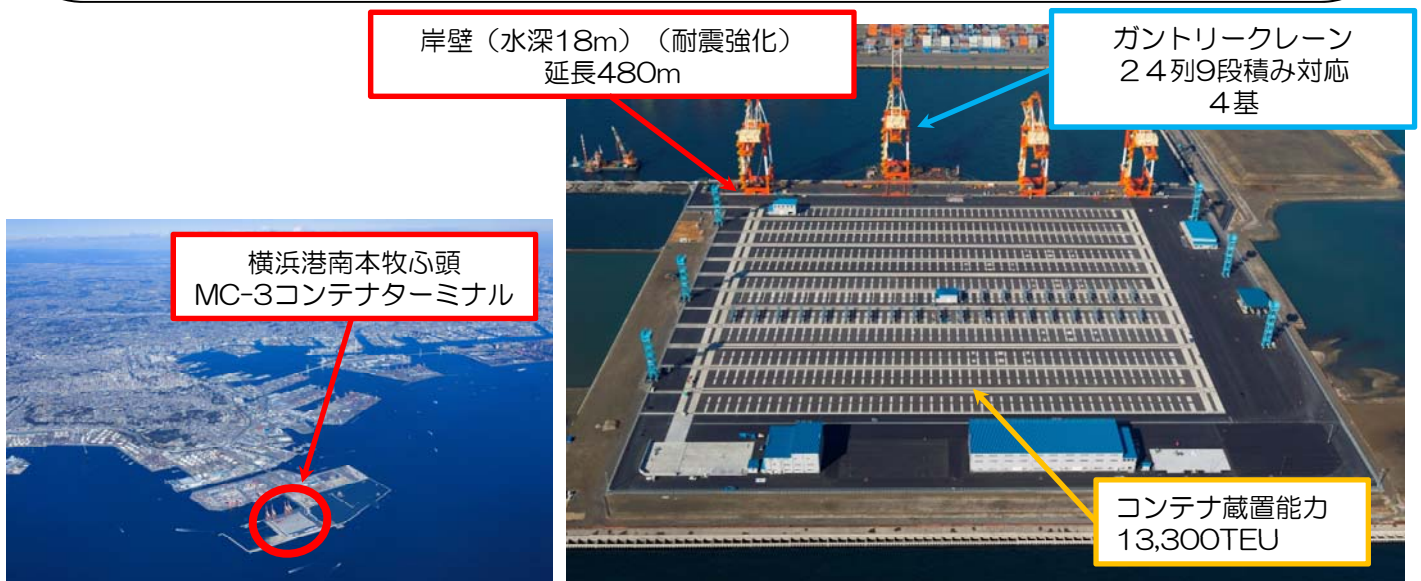


# 横浜港南本牧ふ頭MC-3コンテナターミナルの施設概要

●世界最大級のコンテナ船にも対応できる、国内唯一の大水深・高規格コンテナターミナルであり、国際コンテナ戦略港湾の中核的な施設です。

## 【施設概要】

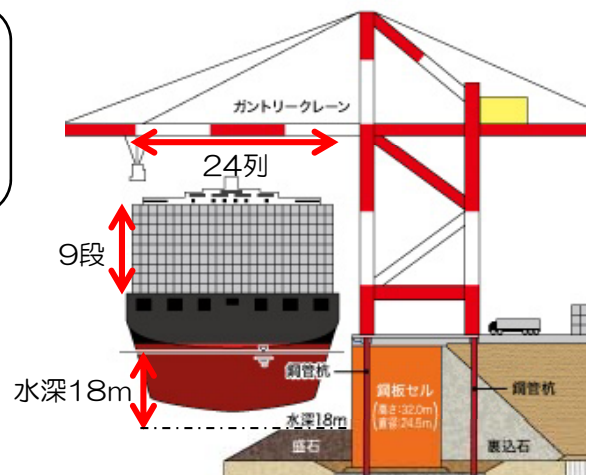
- 岸壁（耐震強化）：水深18m【コンテナターミナルとして国内最大】  
総延長480m（取付部含む）
- コンテナクレーン：4基（24列対応、9段クリア、免震構造【世界最大級】）
- 総面積：22.5ha
- コンテナ蔵置能力：13,300TEU
- 特徴：MC-1・2コンテナターミナルと一体的に運用することで効率化を図っています。



●国際基幹航路に就航する船舶の大型化に対応できます！

➤ 水深18mの大水深岸壁とともに、24列9段対応の大型ガントリークレーンを設置（いずれも我が国では初の採用）しており、世界最大級の約18,000TEU積みのコンテナ船にも対応できます！

➤ 日本と直接結ぶ欧州・北米向けの国際基幹航路に就航する船舶が大型化する中で、我が国への国際基幹航路の維持・拡大に向けた環境が整います！



## 【世界最大級のコンテナ船「Maersk Mc-Kinney Moller」】



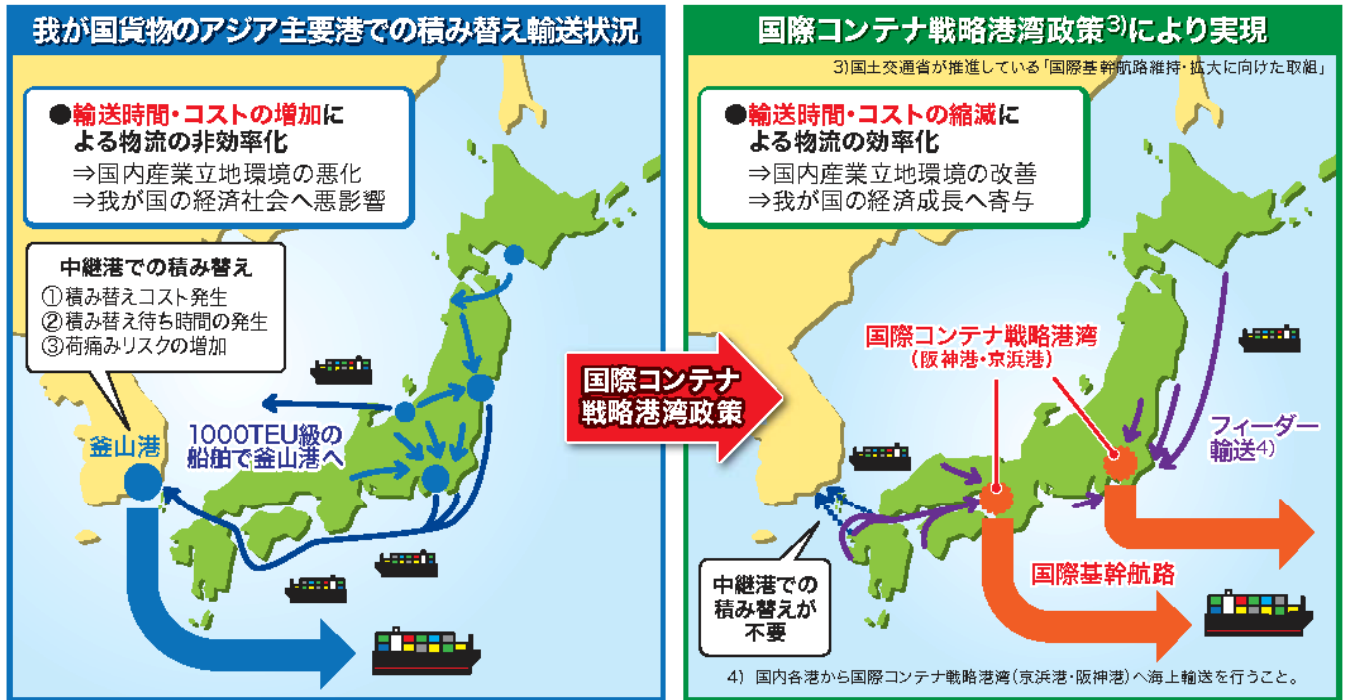
全長×全幅	399m × 59m
満載喫水	16m
最大積載個数	18,340TEU

東京タワー（全長 333m）



## 【整備効果①】 大幅な輸送コストの削減

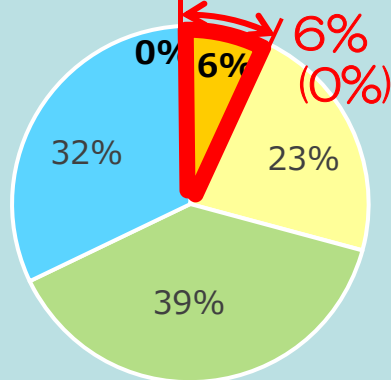
MC-3コンテナターミナルの整備により、日本と直接結ぶ欧州・北米向けの国際基幹航路が維持・拡大され、海外での積み替えによる非効率な輸送コストを回避することが可能となり、**年間約47億円の輸送コストが削減**されます。



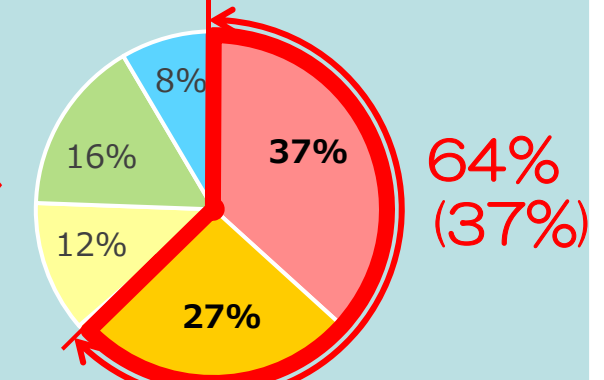
## 【事業の必要性】 大型コンテナ船の就航状況

大水深岸壁（水深16m以上）を必要とする大型コンテナ船（8,000TEU以上）の占める割合は、2005年から2013年のわずか**8年間で、6%から64%（約10倍の増加）**となり、特に10,000TEU以上の**超大型コンテナ船は0%から37%へと大幅に増加**しています。

大型コンテナ船(2005年)



大型コンテナ船(2013年)



約10倍の増加

■ 10,000TEU-  
■ 6,000-7,999TEU  
■ 1-3,999TEU

■ 10,000TEU-  
■ 8,000-9,999TEU  
■ 6,000-7,999TEU  
■ 4,000-5,999TEU

[資料：国際輸送ハンドブック（欧州航路）]

## 【整備効果②】大規模地震に強いコンテナターミナル

●大規模地震災害発生後にも速やかに幹線物流機能が確保されます！

【事例：東日本大震災における岸壁等の被災状況】  
(茨城港常陸那珂港区)

【非耐震の岸壁（バース）】

→ 岸壁背後が陥没



【耐震強化岸壁（バース）】

→異常なし。直後に利用可能



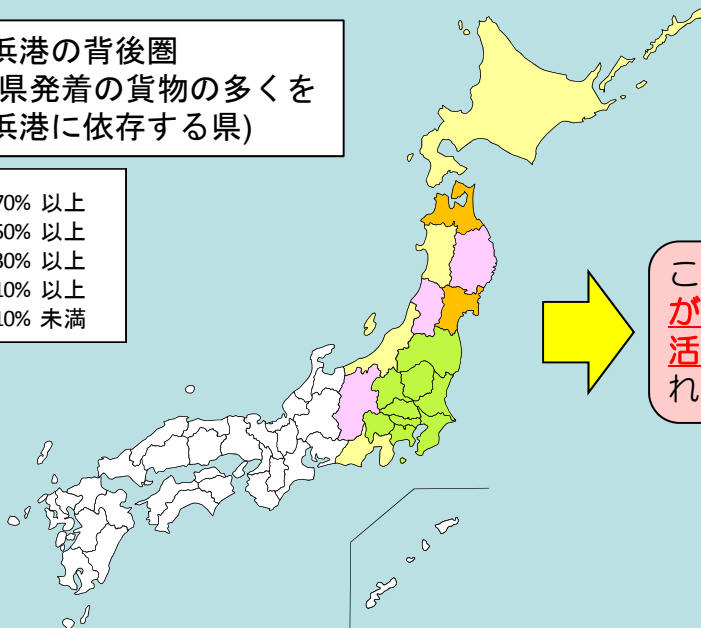
東京湾の入り口に近い南本牧ふ頭において、耐震強化されたコンテナターミナルが整備されることにより、首都直下型地震等の大規模地震災害発生後にも速やかに我が国の経済活動や国民生活に必要な物流の復旧が可能となります！

### 耐震強化岸壁の必要性

◆京浜港の背後圏は東日本全域に広がり、日本全体のコンテナの4割（貿易額では31兆円）を取り扱っており、大規模災害が切迫する中で、災害発生後にも速やかに物流機能を回復させる必要があります。

※「都心南部直下地震」⇒ 今後30年以内の発生確率約70%  
(中央防災会議首都直下地震対策検討WGより)

京浜港の背後圏  
(各県発着の貨物の多くを  
京浜港に依存する県)



こうした地域にとっては、京浜港の物流が遮断されてしまうと、日常生活や経済活動に必要な物資の供給が困難になる恐れがあります。

# (参考) 海上コンテナ輸送が支える我が国の生活・産業

- 資源小国、貿易立国である日本にとって、港湾は輸出入貨物のほぼ全て(99.7%)、国際海上貨物量 約13億トン/年(2012年)を取り扱っています。
- そのうち、日本の基幹的産業である電気・機械製品や化学工業品等の輸出の大部分をコンテナ輸送が担っています。
- また、雑貨や食料品だけでなく、DVDや掃除機、衣類などの身の回りの製品の多くがコンテナ輸送により輸入されるようになっており、国民生活にとっても、コンテナ輸送が重要な役割を占めています。

## ○コンテナで運ばれる貨物（例）

コンテナは様々な貨物の混載が可能であるとともに、容器で密閉されているため、梱包の必要性や盗難の危険性がない等の利点があります。そのため、日用雑貨や工業製品、衣類、食料品などを中心に多くの貨物がコンテナにより輸送されています。

### ●ドライコンテナ

最も一般的な箱形のコンテナ。電気製品、自動車部品、綿、羊毛、コーヒー、葉タバコ、タイヤ、樽詰めウイスキーなど様々な形状の貨物を積むことが可能。



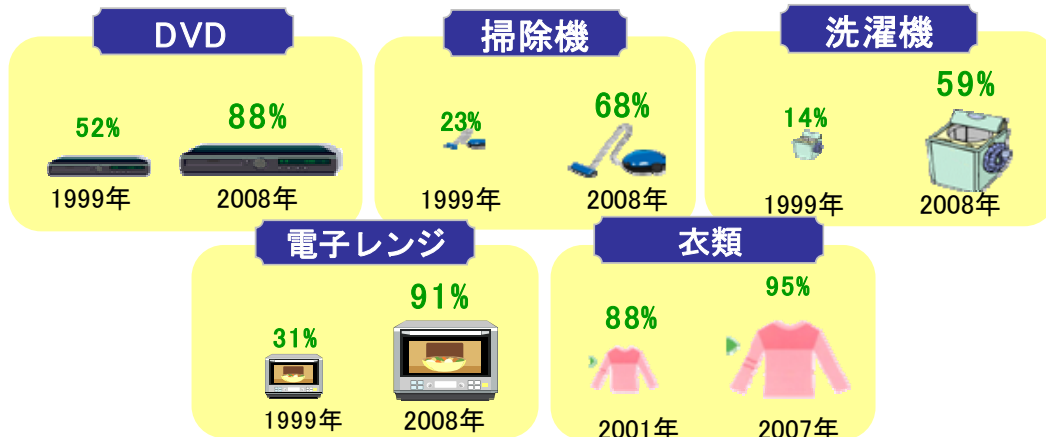
### ●リーファーコンテナ

肉や魚、野菜、果物、チーズ、ワインなどの食品や植物、精密機械、薬品、写真フィルムなどの輸送中における温度変化による品質低下を防ぐため、コンテナ内の温度を一定に保って運ぶことが可能なコンテナ。



## ○身の回りの製品の輸入依存が増加（輸入製品の割合）

※これらの製品についても、コンテナ輸送により日本に輸入されています。



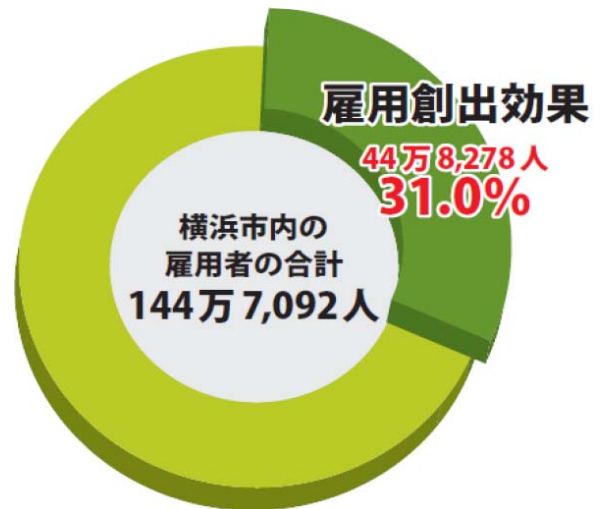
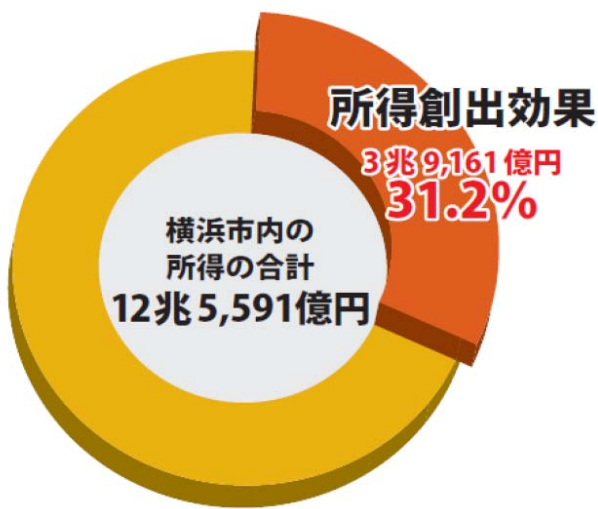
※輸入製品の割合＝輸入量÷国内供給量×100、国内供給量＝生産量＋輸入量－輸出量 [中小企業金融公庫調査部]  
出典：「家電産業ハンドブック(財)家電製品協会)、日本繊維輸入組合調べ」

安定的かつ安価なコンテナ物流を確保することが、日本の産業や国民生活にとって重要です。

## (参考) 横浜港が地域にもたらす経済効果

横浜港による所得創出効果は、間接効果も含めると横浜市全体の約3割に達します。また、市内雇用者の3割を超える約45万人が、横浜港に関わる仕事に従事しています。

### 横浜港の経済効果



出典：2012年5月16日「横浜港の経済効果」（横浜市港湾局）

## 取材要領

### (1) 取材場所・日時

場所 横浜市中区南本牧埠頭 MC-3コンテナターミナル内

日時 平成27年4月16日(木) 11時00分～11時45分

・特設会場内でのカメラ撮影

※特設会場外での撮影はご遠慮願います。

### (2) 報道事前申込

取材にあたっては事前登録が必要となります。取材を希望される方は、4月14日(火) 17時までに、所定の取材申込書にてFAXでお申し込みください。

南本牧ふ頭は制限区域(SOLAS区域)が設定されており、**事前申し込みがない場合には取材をお断りいたします**ので予めご了承ください。

### (3) 報道受付場所及び受付時間

場所 横浜市中区南本牧埠頭

(「式典会場案内図(詳細)」を参照)

時間 当日(4月16日)の10時20分～10時30分

※式典会場まで専用バスで移動いたします。(出発時間 10時45分)

### (4) その他

- ・受付後は取材終了時まで身分証及び自社腕章を必ず着用してください。
- ・現地では係員の指示に従ってください。
- ・現地への移動は各自で行ってください。  
(駐車場は指定の場所をご利用願います。)
- ・現地への行き方は2項の「式典会場案内図(詳細)」をご覧ください。



